

令和4年 経済委員会 開催状況（経済部地域経済局中小企業課）

開催年月日 令和4年2月1日
 質問者 民主・道民連合 広田まゆみ 委員
 答弁者 経済部長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 北海道小規模企業振興条例の意義と課題について （広田委員）</p> <p>現在見直しをされているということでありましてけれども、中央政府では、新しい資本主義が議論され、小学生が、小学校2年生とお話しをする機会があったのですが、SDGsについて質問してきたり語る時代になりました。</p> <p>いわゆる近江商人の、三方よし、売り手よし、買い手よし、世間よしどころか、四方よし、八方よしなど、働いている人ですとか、次世代も含めた持続可能な開発、発展が求められる時代になっています。</p> <p>自分たちの利益や事情だけでは、ますます、商売がなりたたなくなるといわれております。</p> <p>条例の本文、また方策の審議過程も拝見いたしましたけれども、例えば、買い物難民だったり、交通弱者の課題だったり、子育てや介護、地域にどんなニーズがあるのか、顧客目線で検討している視点がほぼほぼないです。</p> <p>さらには、地元で、就労や創業をすることが期待されるZ世代と呼ばれる、生まれたときからスマホがあった、SNSをやっていた世代の感性や問題意識に向き合うチャンネルも用意されていないです。</p> <p>こういうニーズや声に向き合わない限り、いくら小規模企業の振興と謳っても、事業の存続はありえないのではないのでしょうか。</p> <p>また、コロナの厳しい状況の中ではありますが、障害者雇用や女性の雇用、少子化対策について伺ってききましたが、コロナ禍で忘れられています、労働力不足も深刻な課題となることへの危機意識が、条例、振興方策とも薄いような気がいたします。</p> <p>道として、小規模企業振興条例制定後の5年間で、どんな成果、成果というのは地域に実際に起きた変化のことでありますが、どんな成果があり、これからの地域課題解決のために、どのように小規模企業を支援をするべきだと認識し、向こう5年間で何を実現しようとして、見直しの論点を、審議会や道議会に求めているのか改めて伺いたいと思います。</p> <p>【指摘】</p> <p>今、部長がご答弁いただきましたように、小規模企業振興条例の前文では、「道内の企業の9割を占める小規模企業は地域の経済及び雇用を支える重要な担い手であり、地域経済の健全な発展と地域社会の安定に必要な不可欠な存在である」と書かれております。</p> <p>さらに最後ですね、前文のまとめのところ、「小規模企業の振興を通じ、地域経済の活性化及び安心して暮らし続けることができる地域社会の実現に寄与するため、道民の総意としてこの条例を制定する」ということですが、小規模企業の振興が目的ではなく、安心して暮らし続けることができる持続可能な地域社会の実現に寄与するというのが、この条例の目的であると思いますが、道として、小規模企業の当事者に寄り添って一定の成果を上げられてきたことは評価をいたしますが、脱炭素の視点が乏しいことや、具体的方策の中に、実際の地域社会の実現にどう寄与していくかということが見えないというところがありますので、また、方策についても具体的に議論させていただきたいということをお願いしまして、質問を終わります。</p>	<p>（経済部長）</p> <p>条例などについてであります、道では、これまで、平成28年に施行いたしました小規模企業振興条例や小規模企業振興方策に基づきまして、小規模企業の振興に取り組んできたところであり、商工会などを通じたきめ細かな経営指導により企業の課題解決につなげてまいりましたほか、6圏域に設置しているコーディネーターや「事業承継サポートネットワーク」と連携した事業承継への支援を通じまして、後継者不在率の改善に寄与するなど一定の成果があったものと認識しております。</p> <p>しかしながら、この5年間、小規模企業の皆様を取り巻く社会経済情勢は、デジタル化の進展やゼロカーボン社会の実現に向けた取組の広がりなどにより大きく変化して来るとともに、感染症の長期化などから事業者の皆様の経営環境は厳しい状況にあるところでございます。</p> <p>こうしたことから、道では、施行から5年を経過したこの条例と方策の見直しに向け、昨年開催いたしました商工業振興審議会におきましてご議論をいただき、小規模企業は地域経済の健全な発展と地域社会の安定に必要な不可欠な存在であり、条例の基本理念や関係者との連携・協力の考え方は維持をしながらITを活用した販路拡大支援、自然災害など様々なりスク対応への支援、幅広い関係者と連携した施策の情報発信の一層の強化、こうした取組を図る必要があるといったご意見をいただいたところでございます。</p> <p>道といたしましてはこうした視点のもと、条例と方策の見直しを検討してまいりたいと考えています。</p>